

日本社会事業大学同窓会 栃木県支部

会報 いづみ 第13号 (7.12)

栃木県支部事務局：真岡市高勢町 2-248-5 菊池方

TEL090-2321-0902 e-mail: k0226@mbd.ocn.ne.jp

総会開催しました

8月31日にホテルニューイタヤで令和7年度総会・交流会を開催いたしました。母校同窓会から来賓として竹田会長をお招きし、少人数ながらも楽しい集まりとなりました。

☆参加者 石橋須見江・田村匡彦・小菅恵子・檜山浩・関久美子☆

【総会出欠はがきにお寄せいただいたメッセージを紹介】(順不同・敬称略)

「いつも欠席ですいません。年相応に元気で過ごしています。会長様ほかの皆々様によろしく。支部総会交流会の盛会を祈念しています。(沼尾武次)

「社会福祉法人パステルでは、高齢に向かう利用者のために日中型 GH を建設しております。また、これから的人生について保護者の方々と勉強会をはじめました。わからない事がいっぱい！」(石橋須見江)

「昨年7月に定年退職し、第2の人生を開拓中です！ご盛会を祈ってます」(小倉ゆかり)

「父娘2人暮らしでしたが、昨年末在宅で父を看取りました（97歳）。100歳までいくだろうと思っていましたが、まさかでした。まだ気配を感じます（笑）」(渡辺則子)

「御盛会お祈りします。若い方が働きやすい環境が整えられ、弱い立場の人々が充分に護られる社会が出来ますように」(中川吉子)

「なかなか出席できず残念です（現在も宇都宮市内にある特別養護老人ホームとよさとに勤務しています）(松本暢子)

「60歳でケアマネジャーを退職しました。今はシルバーハウジングの生活援助員をしています」(小菅恵子)

「老健相談員として勤務し8年が経ちました。1児の母となり子育てと仕事と忙しく過ごしております。暑い日が続きますので皆様くれぐれもご自愛ください」(今見陽夏)

特別企画展『とちぎ戦後80年』

《学部6期 田村匡彦》

7月12日、栃木県立博物館で開催されている企画展を見てきました。サブタイトルは「おやと子で知る軍隊・戦争と栃木」です。

東京空襲から4か月後の1945年7月12日深夜から翌日未明にかけて宇都宮市は133機編成のB29の空襲を受けた。完全な制空権を得た米軍機は焼夷弾を投下。市は壊滅的な被害を受け、3時間にわたる無差別爆撃に市民は強い雨の中を逃げ惑った。620人が亡くなっています。その破壊と火炎のすさまじきは企画展空襲コーナーに生々しく再現され、追体験することができます。配給・供出・増産・防空等の県民生活についても「銃後の様相」コーナーで詳しく解説されています。

戦中、それまでの社会事業は厚生事業と位置づけられ国の予算措置は極めて貧弱なものでした。特に民間の事業は寄付に頼るしかなく、その寄付も「欲しがりません勝つまでは」という国民生活の窮乏の中ではかつてのような力とはなり得ませんでした。

県内では救護法により孤児院と区分された下野三楽園（児童収容30人、書記2主婦2炊婦1）があり、職員は食料品や畑で使用する肥料を受けることに精力を使い果たしていました。配給の絶対量の不足を補う農産物の生産もやせた畠からの収穫は労多くして惨憺たるものだったのです。園長は日光山内からの通勤でした。

子供たちの家庭舎での生活を想起させる記録があります。川久保鸞子は女子師範の寮に入るまでの間、園職員寮に寄留。職員寮は叔母の住む家でもあったのです。父親忠治への葉書に「夜等かやをつっておいても蚊や虫にせめ立てられて困ります。こちらは非常に暑いです。今日は31度ですからまあ普通と言って良いです。二、三日前は寝て居ても汗で寝巻までもびっしょりです。暑いため夜は11時くらいまでは全然寝付かれません。朝はたいてい5時起床、いやでもなんでも洗濯だけはしなくてはなりません。」(7/10) 母親ヤスへの葉書では、「関根さんの良ちゃんは甲種合格だそうです。今晚は久しぶりに雨です。」(7/27) 「今日は旧のお盆ですね。今もどこからか盆おどりの太鼓の音がきこえます。飛行機のちゅうがえりの音もきこえます。もう22時にもなりますのに。」(8/27) 夏の季節、園の子たちも寝付かれぬ暑い夜を過ごしていたことが想像に難くありません。又、畠の管理等は斎藤喜十郎を中心に行い、園児たちに交じって祐次・フユの子達も畠仕事をしました。収穫は少なくとも雑草は生え、皆でやらなければ管理し切れなかったのです。1945年3月、園の管理人関野祐次は極度の栄養失調により50年の一生を園で終えました。長男の良一郎も師範を出て訓導として教壇に立っていましたが応召。ビルマで戦病死。25歳。



1945年10月14日米軍第17師団の兵4,500が宇都宮市に進駐。中国（旧満州）からの引き揚げ孤児を受け入れるため財団法人下野三楽園は1946年7月21日役員会でそれまでの3家庭舎を8家庭舎に規模拡大することに決めました。

児童福祉施設の最低基準（省令第63号）が公布されたのは1948年12月29日でした。

久しぶりに社大に行ってみた

《学部34期 菊池浩史》

6月に開催された母校主催の交流会（合同就職フェア）に、同窓会栃木県支部の立場で参加するため、数年ぶりに社大に行ってきました。

今回はJR新秋津駅から徒歩で社大に向かう。大人になった今ではタクシー使ってもおかしくない距離なのだが、昔からの習慣です。

新秋津駅について、駅前の「木曽路」という立ち食いそば屋で天ぷらそば。昔からあるけど入ったことなかった。語ることなき昔ながらの立ち食いそば。腹ごしらえすませ歩き始めると、同期のWさんとばったり。彼女は秋津に住んでいて、今は保育園の園長先生。こういう再会はうれしい。

しかし秋津駅周辺も変わったなあ。昔からある店は不二家レストランくらい。ワンゲルのみんなでパフェ食べたことがあったな。



秋津から社大への道の記憶があいまい。たしかこっちだなと思いながら歩いているとなんとか社大西門にたどり着く。体育館の前を通るとその脇にプールがあって、はて、こんなところにプールがあったっけといまさらながらに思う。会場につき、栃木県ブースに座る。パステル理事長の石橋須見江さん、同愛会理事長の菊地月香さんもいらっしゃり心強い。周りを見渡せば、日本を代表するような法人も参加していたりして、定員割れしうが偏差値下がろうが、さすがは社大。

会場で卒業以来久しぶりに会った後輩たちは施設長とかになっていて、俺よりずっと偉いのに私を立ててくれて、その人の実力に関係なく永遠に続く先輩後輩という関係はすごい。

もともと栃木県出身の学生さんが少ないので、通りすがりの学生さんに声かけて話聞いてもらったりしました。月香さんに障害者福祉や働くことについて

て話していただき、学生さんには満足していただけたかと。

当日同時に行われていた同窓会幹事会に参加されていた檜山会長がいらっしゃったのでバトンタッチして、卒業以来 30 年ぶりに学食でご飯を食べる。日替わりランチ 500 円。安いね。私の在学中の日替わり定食には、三浦文夫学長の名を冠した「ふーみんランチ」という名前がついていた。しかしここは迷わずカレーを注文。350 円なり。昔は 220 円だったな。一番安いメニューであるカレー、ほんとよく食べたな。雰囲気は変わらない学食でカレーを食す。なぜか味が変わっておらずうれしい。入学早々の寮の新歓コンパの日、むりやり酒飲まされて大変だという噂は聞いていたので、新入生たちで学食食べながら、深刻な表情で寮火事になんねーかなとか言っていたのもいい思い出。

しかし社大の学生は、30 年たっても雰囲気が変わらない



のがすごい。ギャルとかいないし。服装も地味で、みんなまじめそう。終了後、ワンダーフォーゲル部の部室行ってみて、部員はいなかつたけど、入口に張り出された写真見てみると、私の在校時とあまりに雰囲気が変わっておらず、タイムスリップしたかのような既視感すらあった。

卒業して 30 年たってもまだ楽しめるんだから、社大行ったもとは取れているんだと思う。



社大の「アガペ像」 →

「ウブゴエ カラ灰ト ナリテマデ」って、
なんか最近になりあらためてこの言葉の重さ、
深さを感じるようになりました。

令和6年度 事業報告

1. 会報「いづみ」第12号発行
2. 役員会の開催

日時：令和6年8月10日

会場：社会福祉法人パステル CSW おとめ

令和7年度 事業計画

1. 会報「いづみ」第13号発行
2. 役員会の開催
3. 総会の開催
4. OB・OGとの交流会開催（母校開催）
5. その他必要とする事業

令和6年度 決算報告

収入			支出	
会費	36,000	2,000円×18人	通信費	15,680 会報・通知送付
補助金	30,000	五味基金	総会費	0
寄付金	37,000		印刷費	8,280 会報・通知印刷
繰越金	23,974		慶弔費	0
雑収入	38		消耗品費	0
			雜費	0
収入計	127,012		支出計	23,960

収支差額 103,052円（令和7年度に繰越）

令和7年度 予算

収入			支出	
会費	20,000	2,000円×10人	通信費	40,000 会報等発送費用
補助金	30,000	五味基金	総会費	5,000 会場費等
寄付金	1,000		印刷費	102,000 会報等印刷費用
雑収入	1,000		慶弔費	5,000 慶弔費用
繰越金	103,052		消耗品費	1,000 用紙代等
			会議費	1,000 お茶代
			雜費	1,052
収入計	155,052		支出計	155,052

会費納入・カンパにご協力お願いします！

会報の原稿募集通知にて会費納入をお願いしたところ、多くの方から会費・カンパをお寄せいただきました。ご協力ありがとうございました。

引き続き、同窓会の円滑な運営のため、会費(2,000円)納入とカンパにご協力をお願いいたします。

振込口座 筑波銀行 鹿沼支店 普通口座 1030143 菊池浩史

会費納入者 (順不同・敬称略・令和7年11月8日現在)

奥村厚子・小暮智偉・山田登子・住田ふじえ・植木博美・◎折井由紀子・長谷川孝範・菊池浩史・星野かおり・永島徹・◎渡辺則子・檜山浩・石橋俊一・石橋須見江・田村匡彦・関久美子・小菅恵子

(◎はカンパをいただいた方です。)

社会福祉セミナーin 栃木 開催予告

日時 令和8年7月11日(土) 13:30~16:30

会場 ライトキューブ宇都宮

テーマ 「障がい者と地域社会の真の共生をめざして」

母校同窓会主催のセミナーが開催されます。社会福祉法人パステル、すぎのこ会、同愛会との共催です。詳細は後日ご連絡差し上げます。

編集後記

11月24日、ワンダーフォーゲル部設立55周年パーティーに出席しました。参加者は創設当初メンバーである‘70年代在学の大先輩方と、私の前後の’90年代在学の50代が大半の28名。もう最後に会ったのがいつだったのか定かでない先輩後輩たちも、会った瞬間に時空を飛び越え学生時代の気持ちに戻れるというのが学生時代の仲間たちの不思議なところ。四次会までやって7時間くらい飲んでた。久しぶりに遊びました。

さて、今回清瀬に行った話を書いてみて思ったのですが、この会報って清瀬世代の話がほとんど出てこなかったですね。社大も今や清瀬時代の方が長く、卒業生も清瀬世代の方が多い。私も原宿時代知らないし。

それにしても学食のカレーの味が変わっていなかったのが不思議でしょうがない。老舗カレー屋じゃあるまいし、30年も同じ味が出せるのだろうか？錯覚？また食べたい。